

名 誉 会 員



Mr. W. H. WISE

President, Iron and Steel Society of AIME
Vice-President, Airco Alloys

1949 年ケンタッキー大学より Metallurgical engineering の称号をうける。現在 Airco Alloys の副社長の職にある。

Wise 氏は 26 年間に亘って Ferroalloys の製造に関する部門、即ち生産計画、設備計画、在庫管理、コンピュータシステム管理等の業務に携わり、多くの技術論文を米国およびヨーロッパで発表している。

1975 年 2 月 17 日、AIME 鉄鋼学会の会長に選出された。氏は Electric Furnace Division に永らく関与し 1971～2 年は委員長として卓越した運営により輝やかな業績を残している。

また 1972 年から Metallurgical Society の理事に選出されている。

学界活動を通じて日米間の技術交流に多大の貢献をしている。

名 誉 会 員



Mr. M. L. LEÃO

Chairman, Instituto Latinoamericano del Fierro
y el Acero
President, Companhia Siderurgica Paulista

1911 年 8 月ブラジル Botucatu に生れる。1935 年サンパウロ大学技術専門学校土木電気科を卒業。

現在パウリスタ製鉄 (COSIPA) の社長を勤めている。氏はブラジル鉄鋼協会理事に就任中で同時にラテンアメリカ鉄鋼協会 (ILAFA) の会長の職にあつて、海外鉄鋼国との友好に努め、とりわけ日本との関係緊密化に力を注いでいる。また国際鉄鋼協会 (IISI) の理事でもある。さらに AIME の名誉会員にも推挙されている。

氏は鉄鋼をはじめ多くの事業経営をしているかたわら、ブラジル原子力委員会委員、同度量衡委員など数多くの政府関係の委員会のメンバーとして、あるいは政府代表の一員として国際会議に参加している。

氏の幅広い業績に対して 1971 年フランスの勲四等レジオンドヌール勲章、ブラジル市民文化功労十字章が授与されたほか、ブラジル地理学会をはじめ幾多の団体から数々の表彰をうけている。

名 誉 会 員



Mr. A. G. GARCIA

Secretaria General, Instituto Latinoamericano del
Fierro y el Acero

1927 年 11 月チリに生れる，1953 年チリ大学工学部を卒業し，ヨーロッパに留学．

1955～6 年ラテンアメリカ UNESCO 科学博覧会において Director として活躍後，Chilean Steel Institute を経て，1960 年にラテンアメリカ鉄鋼協会（ILAFA）が設立された際に事務局に入り，1966 年より事務総長に就任した．以後日本と ILAFA との緊密な友好関係の確立に尽力されて，その結果毎年 ILAFA の総会において日本から特別講演が行なわれている．

氏は Universidad Técnica del Estado の教授のほか，多くの公職につかれている．

名 誉 会 員



Prof. N. V. AGEEV

Chairman of the Scientific Council on Physico-
Chemical Bases of Metallurgical Processes of
Academy of Science of the U.S.S.R.
Director of the Bajkov Institute of Metallurgy

1903 年 6 月トビリシに生れる。1926 年レニングラート工業専門学校卒業，1929 年同大学院卒業，1929 年から 2 年間カイザーウィルヘルム金属研究所に留学した。帰国後レニングラード工業専門学校で教鞭をとるかたわら研究活動に従事，1951 年ソ連学士院科学アカデミーバイコフ記念冶金研究所の副所長，その間 1968 年にソ連学士院会員に選出された。1971 年からバイコフ記念冶金研究所所長の職にあつた。その間日ソ製鋼理物化学シンポジウムのソ連側の代表者とし故サマーリン教授とともにその確立に尽力され，今日，5 回（10 年目）を数える同シンポジウムの基盤を築かれた。1975 年ソ連学士院金属製錬基礎（物理化学）研究会議議長となつたが，これは日ソシンポジウムの推進母体となる組織である。